

ふすまカラクリ 研修会の感想



尾木原トシ子（神山町小野さくら野舞台復活実行委員会）

先人の素晴らしい知恵とそれを守り続けておられる犬飼農村舞台を見学させていただき本当に良かったです。実際に舞台裏へ入らせていただき、襖からくりの仕掛けや動かし方を目の当たりにして感激いたしました。ありがとうございました。

小川一清（神山町小野さくら野舞台復活実行委員会）

犬飼農村舞台の襖カラクリについては、舞台（裏）と観客席の両面を見据え、細かいところまで創意工夫が為され、各々のセッティングや操法についても、永年の経験（実践）が功を奏し、「さすが犬飼の舞台でそれに係わる人が居る」と感心した次第。

襖そのものについても、貴重な原版を保存し、通常使うものを複製していることについて、当方のように老朽、陳腐化が進み修復することに苦慮している点について大いに参考になった。

カラクリは、決して難しい技ではないが、要領が理解出来、継続的に取り組みが出来る人手をいかに確保出来るかが今後の課題とされている。犬飼の皆さん、後発の私たちに今後ともあたたかいご指導をよろしくお願いたします。

小川賀代子（神山町小野さくら野舞台復活実行委員会）

襖カラクリの技に心ひかれ感動しました。私も早く使えるようになりたい。小野さ

くら野舞台では、女性の実行委員がカラクリに挑戦したいという気運が高まっています。（他に例を見ないので話題性があって良いのではと）

小川祺文（神山町小野さくら野舞台復活実行委員会）

人形芝居の常設舞台は、全盛期には神山町内に十数か所あったといわれる。しかし、昭和二十年代より、新しい娯楽の出現により次々と取りこわれ、現存するのは小野さくら野舞台のみとなった。（古老の話によるとこの野舞台も、かつて鮎喰川の洪水により流失したとのことである。昭和二十六年現在地に再建した。）

神山町文化財保護審議会の調査により、舞台の背景や「襖からくり」として用いられた襖絵が一五〇枚余り町内の各地に保管されていることがわかった。また、神山町には寄井座（上村都太夫座）があり、昭和五十年より活動を再開している。

寄井座が所有する人形の頭は六十個余りあり、殆どが初代天狗久の作等で県有形文化財に指定されている。

このように先人の残された貴重な文化財は大切に引き継ぎ、次世代へ伝えなければならぬものと思う。

小野さくら野舞台も二十数年前の公演から途絶えていたが、平成十三年復活公演をすることができた。

先日、阿波農村舞台の会のお世話で犬飼農村舞台を見学し、保存会の方々から見事なからくりの仕掛けや、操作法を教えてくださいただくことができた。小野地区からの参加は少数であったが、今後よい公演ができるよう野舞台の整備につとめたいと考えている。

花野たえ（徳島文化研究所）

「草生してデデ虫の宿農舞台」先年犬飼の農村舞台を初めて訪れた時の即興句。舞台は樹間に時を止めて深閑として佇っていた。

今日は朝から阿波農村舞台の会の人々、保存会の方々でにぎわしい。舞台も全ての雨戸がはずされ絵ぶすまも日光浴をしている。止まった時計もカチカチ鳴り始めた。

カラクリぶすまの扱い方を手を取って教えていただいでびっくり、三本の長い竿と数本の麻紐で簡単に動いてくれる、何というシンプルな仕掛け！先人の智慧のすばらしさに感嘆してしまいました。

進行時間は延長につぐ延長、ゆったり流れる時間。日頃、目一杯予定を入れて右往左往している私と友人達の目はまん丸になさい。最後までお手伝いせず本当にごめがとうございました。

ゆにて設計事務所 白石高啓

ふすまカラクリは、知恵と道具の総結集された、変化に富む優れ物。

また、遠近法を取り入れた視覚効果によって、舞台の奥行きがよりイリュージョンを高めてくれる。実際に、カラクリの技法を丁寧に伝授されたり、間近でみた襖のデザインを観察する事で、さらに農村舞台への好奇心がわいてきた。

中川美恵子

犬飼農村舞台へは初めてだったので、途中迷ってしまい、大回りをしてしまいました。五王神社境内では、襖の虫干しがされており、保存状態もよく色々な絵柄が並んでいました。それと、びっくりしたのは、何とカラクリに使用するレプリ

カの存在でした。「本物はそのまま保存しておいて、レプリカを使えば色の発色がよいので撮影などは、きれいに写るんですよ。」との保存会の方の話でした。

ふすまカラクリの裏方を見せていただき、舟底楽屋から上を見上げた時、つり上げるための仕掛けなど竹や糸などで巧妙に作られており、昔の人の知恵に感心させられました。

特に田楽というカラクリでは、ぶすまの片方を引っぱるだけで、あっという間に絵が変わってしまいました。保存会のベテランの方が親切に何度も操作方法を教えてくださいました。神山の小野さくら野舞台の小川賀代子さんがいっしょけんめいがんばって挑戦されていたのが印象的でした。

犬飼農村舞台保存会の皆様のご厚意に感謝いたします。

大島和典

保存会の方々のてきぱきした動きに農村舞台にたいする誇りを感じました。何かお手伝いさせて頂けたらさらに幸せなのですが・・・

佐藤憲治

犬飼農村舞台保存会のみなさん、本当にありがとうございました。舞台、カラクリ、ぶすま絵、周囲の環境、どれをとっても第一級の農村舞台です。保存会のみなさんの熱意や誇りが、私たちにも伝わってきます。今回の研修会がはずみとなって、神山でもふすまカラクリが復活することを心から楽しみにしています。

